

筑後市社会福祉協議会 / 広報

人として

筑後市社会福祉協議会
(〒833-0032 筑後市野町680-1)
TEL 52-3969
FAX 53-6677
Mail info@chikugo-shakyo.or.jp
URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに…それが社会福祉協議会の目標です。



不登校・ひきこもり家族会サルビアの会

引きこもりの期間が 人生を好転させる チャンスになった

7月6日(土)、不登校・ひきこもり家族会サルビアの会では、当事者団体「Niente」代表の山川豊揚さんを講師に学習会を行いました。36〜41歳の5年間ひきこもりを経験し、現在は自助活動に取り組み山川さんから、次のようなお話がありました。

ひきこもる理由も、

出口になるきっかけも、
一つではない

ひきこもる理由は一つではありません。一度のつまづきなら耐えることができても、私は様々な要素が積み重なり、しんどくなって引きこもるようになりました。

出口になるきっかけも一つではありません。特効薬はなく、一つ一つの積み重ねが大切だと思います。

引きこもりを終える後押し

妻は就労をせかさず、休む時間と安心できる環境を与えてくれました。また、回復を待つだけでなく、家事を任せたり趣味を後押ししてくれたりしました。心理的な支援と様々な仕掛けのお陰で、気力が回復していききました。

話を聞いた後、「でもね」と言われ…

ひきこもっている時は、混乱して

いるため会話のつじつまが合わないことも多々ありました。でも、話すことで考えや気持ちは整理されます。真偽よりも会話していることに価値があると捉えてほしいです。ただ、嫌だったのは、話を聞いた後の「でもね」の言葉。私を説得するために話をさせただけだったの？という気持ちになっていました。

幸せを感じながら生きられるように

ひきこもり期間は、得意なことを見つけたり、幸せを感じながら生きられるきっかけになりました。今は第2の人生だと思い、やりたかったことに色々とチャレンジしています。

不登校・ひきこもりの方の家族会 サルビアの会に来てみませんか？

同じ立場なら話せる！分かり合える！

- とき** 8月3日(土) 14:00~15:30
- ところ** 筑後市総合福祉センター(野町680-1)
- 内容** 学習会
- 対象者** 不登校やひきこもりの方の家族
- 問合せ** 筑後市社会福祉協議会
☎ 52-3969 ☎ 53-6677
✉ info@chikugo-shakyo.or.jp

病や弱さに焦点を当てず、 みんながフラットに助け合える関係を



ひまわりのつどい視察研修

ひまわりのつどいは、精神障害のある本人と家族の会で、主に学習会や交流・意見交換などを行っています。6月は、精神的な悩みや生きづらさなど抱える人が気軽に集える居場所として久留米市内に開設されている「オープンスペースゆるか」へ視察研修に行きました。

私たちは問題解決を目的にしていません。問題を解決しようとする時、その人の病や弱みにばかり目が向き、「支援しよう」という一方通行の関係になってしまう。それを避けたいからです。

お互いが対等な関係になつていくと、相手は思ったことを自然に伝えられたり、居心地がよくなったりしていくと思います。

病や弱さに焦点を当てない

初めは助けを求めてくる人でもお互い関わっていく中でこちらが助けてもらったということはお互いあります。本来、人は助け合っていくものです。皆どちらにもなり得る関係がいいな、と思っています。

助ける・助けられるだけの関係にならない

ゆるかのスタッフは精神科医療を利用していただく方で、支援する人・される人の区別がない対等な関係を大切にされています。研修の中では様々な思いをお話しいただきました。

精神障害のある人のための居場所・交流スペース

かたる～む

開設中

★筑後市社協では精神障害のある方の居場所づくりのために「かたる～む」を開設しています。同じ立場の人同士、少人数で何でも話しやすい雰囲気の中、自由におしゃべりや情報交換などをして過ごしています。

参加している方は、「昼間一人で過ごすことが多く、話し相手もあまりいないのでここに来るのを毎回楽しみにしています」「話をするだけで気持ちが軽くなります」と話されます。

ぜひ気軽にお越しください。初めての方は、見学から始めてみませんか？



★8月の開設日のお知らせ★

とき 8月9・23日(金) 13:30~15:00

★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

問合せ 筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677

✉ info@chikugo-shakyo.or.jp

支援が必要な「人」を
支援が必要な「とき」で接する

精神障害があることで、私の全てを「問題」と見られることもあり、一人の人間であるということが原点なのに！と思っていました。また、相手のことも自分のことも、支援が必要な「人」と見るのではなく、支援が必要な「とき」と捉えることが大切です。今はそういう状態の時であるだけ、と思うことで状況の捉え方が変わります。そしてまた、自分の人生を考えられるようになると思います。

ひきこもり家族相談会

とき 8月22日(木) 13:00~16:00

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

★8月15日(木) 17時までには要予約

(1日限定3名・匿名可)★原則来所での相談

問合せ・予約 筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677



6月26日(水)、JAふくおか八女様からお米350kgをご寄付いただきました。地域食堂、フードパントリーなどで役立てさせていただきます。

JAふくおか八女
お米350kgのご寄付



6月24日(月)、株式会社ユーコー様からタマスタ筑後の野球チケット57枚をご寄付いただきました。ひとり親世帯等へお渡しさせていただきました。

株式会社ユーコー
野球チケットのご寄付

『食料品の無料配布』で ひとり親家庭を応援!

お米、インスタント食品等を配布します。必要な方は、お気軽にお申し込みください。数に限りがあります。

★事前申し込みが必要です!

8月13日(火)12時

～8月16日(金)17時に

二次元バーコードを読み取ってお申し込みください。

(数量限定。期間内でも、定数に達し次第受付終了します)



対象 平成14年4月2日以降生まれの子がいるひとり親家庭

配布日 8月20日(火)・21日(水)16時～18時

配布場所 筑後市総合福祉センター

問合せ 筑後市社会福祉協議会 ☎ 52-3969

✉ info@chikugo-shakyo.or.jp

★グリーンフードパントリー
(野菜の無料配布)も実施中!

※詳細は、公式LINEにて⇒⇒



音訳ボランティア入門講座

相手のことを イメージしながら活動を

6月20日(木)から音訳ボランティア入門講座(全5回)が行われました(主催:筑後市音訳・朗読の会みずぐるま)。同会では、広報紙などをCDに録音(音訳)し、視覚障害や手指の障害でページをめくることができない方へ届ける活動をしています。

初回は、夏秋圭助さん(福岡点字図書館館長)の講話がありました。

声を届ける相手のことをイメージ

「音訳は相手と対面してする活動ではありません。しかし録音した声(情報)を必要として聞いてくださる人がいるのです。そこで、自分の声を届ける相手のことをイメージしながら録音することが大切です。そうすると、相手にとって聞きやすい音声、声量が見えてきます」

大切なのは技術だけではない

「技術ばかりが先行しても、思いは伝わりません。伝えよう、とする思いが大切です」と夏秋さんは話されました。

初めて参加された方は、「本が好き。好きなことで誰かの役に立てるのなら、と思って参加しました」と話されていました。



「本が好き。好きなことで誰かの役に立てるのなら、と思って参加しました」と話されていました。

障害のある人の兄弟姉妹の会です

ふくおか・筑後きょうだい会

～同じ立場で語り、交流しましょう～

とき 8月17日(土)15:00～17:00

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

問合せ ●ふくおか・筑後きょうだい会

✉ chikugo_kyoudai@yahoo.co.jp

●筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677



社会福祉事業資金寄付

★ 香典返し寄付の部 ★

緒方 正様 (故 米子様) 長浜
 藤野 清香様 (故 木本清忠様) 下北島
 瀬戸 トクヨ様(故 重夫様) 水田上
 堤 康子様 (故 重治様) 久富
 吉開 絹子様 (故 隆夫様) 新溝
 古賀 順子様 (故 文子様) 八女市
 富安 浩恵様 (故 政俊様) 井田下
 匿名様 一件

★ 計三〇〇,〇〇〇円

善意奉仕銀行寄付


● 預託の部(物品口座)

○匿名様から食品の寄付がありました。
 ○立山康弘様(和泉中)、匿名様から野菜の寄付がありました。
 ○匿名様から紙オムツ、シルバークーの寄付がありました。
 ○藤野清香様(下北島)から衣類の寄付がありました。
 ○筑後市立病院様(和泉西)から缶詰の寄付がありました。

福祉センター
夏休みもご利用ください

【閉館日】土・日・祝日、12/29~1/3
 【開館時間】8:30~17:00
 【住所】筑後市野町680-1
 【問合せ】筑後市社会福祉協議会
 ☎ 52-3969 ☎ 53-6677
 ✉ info@chikugo-shakyo.or.jp

学習スペースとして…
 居場所として…




介護家族の会コスモス「介護講座」

「高齢者の栄養」編

高齢者の低栄養の問題が注目されています。介護している家族自身も含め、食事の工夫を学びます。


とき 8月4日(日) 10:00~11:30
ところ 筑後市総合福祉センター
講師 管理栄養士
問合せ 筑後市社会福祉協議会
 ☎ 52-3969 ☎ 53-6677
 ✉ info@chikugo-shakyo.or.jp



○徳永隆治様(井上)、富安浩恵様(井田下)、匿名様から紙オムツの寄付がありました。
 ○ユーコーラッキー37筑後店様(長浜)からお菓子の寄付がありました。
 ○株式会社ユーコー様(久留米市)からタマスタ筑後野球観戦チケットの寄付がありました。
 ○JAふくおか八女様からお米の寄付がありました。
 ○JAふくおか八女よらん野様(前津)から野菜の寄付がありました。

赤い羽根共同募金

下の二次元バーコードから共同募金への寄付と、使いみちの検索ができます。



【いずれも6月1日~6月30日まで】

○(株)プレシア様(下北島)からお菓子の寄付がありました。
 ○筑後市農業委員会様から野菜の寄付がありました。

事務局通信

近所にある公園は、ボランティアグループの方が毎日のように清掃や花の世話をされて、いつもきれいで住民憩いの場となっていました。しかし高齢になり活動が難しくなったため、今後は地域の活動としてやってもらえないか、と地域の役員へ相談があったとのこと。

そこで地域としてどうするか、役員会で話し合うことに…。その中では、役員で分担して水やりする、住民へ協力を呼び掛ける、花を育てるのをやめる、といった案が出されました。その場の結論は、今咲いている花が枯れるのを待つてその後は植えない、でした。どの家庭も忙しい中お願いできない、負担を感じて区を抜けたという人も出かねない、などの意見が多かったのです。効率性を考えることも必要で、やむを得ないと思う反面、寂しさも感じました。

しかしそれから一年。公園には今もきれいな花が咲いています。やはり、長年地域を想い行動してきた人の思いを、できる範囲でも繋いでいきたい、と続けることになったのです。花を見るたび、温かい人が身近にたくさんいる、と嬉しさや心強さを感じます。(喜)